



創立148周年

5月号（令和3年4月30日発行）

kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

二年ぶりの塩水選・播種

校長 森 愛子

横浜市にまん延防止等重点措置が出ている中ではありますが、感染症拡大防止の対策を取りながら、昨年度はできなかった教育活動が順調に進んでいます。

22日には5年生が稲作活動の最初の学習「塩水選」を行いました。生卵が水に浮くくらいの濃さの塩水を作り、その中に種籾を入れ選別する作業を通して、しっかりと実の入った種籾は重いことを知りました。26日は校舎前の花壇で播種（種まき）をしました。連休中は、教員が分担で水やりをしますが、その後は、5年生が1日2回の水やりを続けます。稲作の行程は八十八あるから『米』と書くという言われがありますが、美味しいお米が人々の口に入るまでの多くの作業を体験することで、理科・社会の学習としてだけでなく、食育やキャリア教育としても豊かな学びが展開できると考えます。

今後は、2年生の夏野菜の植え付け、1年生のさつまいもの苗植え、3年生の梨の袋かけ、全学年での田植えと子ども達の楽しみにしている栽培活動が進みます。

感染者を出さないように、濃厚接触者が出ないように、さらに気を引き締めつつ、授業の形態を工夫しながら可能な限り通常の学習を継続し、子ども達の健やかな学びを保障して参ります。それと同時に、やむを得ず登校できない状況になった時には、GIGAスクール構想により整備された環境と配備された端末を活用することも想定されますので、子どもたちが自分で端末を操作し活用できるようになるための学習も進めて参ります。

保護者・地域の皆様におかれましても、ご自身やご家族の感染症対策には十分ご配慮されているかと思いますが、児童も教職員も、同居の家族に発熱の症状がある場合も、登校・出勤させてはいけないことになっています。また、登校後も体調観察に努め、体調の不調に教職員が気づいた場合には、すみやかに養護教諭と連携し、迅速な対応を取りますので、連絡が取れるようお願いいたします。そして、もし新型コロナウイルス感染症にかかる理由で休まざるを得なくなった時に、いわれのない差別等で傷つけることのないよう指導しています。ご家庭でも感染症対策とともに子ども達の心に寄り添う言葉かけをお願いいたします。毎年恒例の行事を進められることに感謝し、教職員一同頑張っていますので、今後ともご理解・ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

